

昭和54年度沖縄周辺重要水産資源調査

調査報告書 第一号

1. 目的

沖縄周辺海域で、網漁業、一本釣漁業の対象となる主要魚種について、資源調査を恒久的に実施し、それぞれの資源の生態、資源の変動法則を明らかにして、沿岸、近海漁業の管理および合理生産体系の確立をはかる。

2. 調査の概要

1) 個体生態調査

漁獲物を通じて成長と年令、成熟、産卵、系統群、回遊等について知見を復る。

a) 体長測定調査

b) 体長、体重調査

c) 胃内容物、生殖腺調査

2) 漁獲量調査

a) 水揚地調査

b) 標本船調査

3. 調査の実施状況

1) 実施機関 沖縄県水産試験場 漁業室

担当者 当真嗣誠(総括)

友利昭之助(調査測定)

川崎和男(調査測定)

金城武光(調査測定)

喜屋武俊彦(調査、取りまとめ)

2) 調査対象魚種

a) カツオ

体長測定調査、胃内容物、生殖腺調査、水揚地調査、標本船調査

b) タカサゴ類

体長・体重測定調査、胃内容物、生殖腺調査、水揚地調査

c) トビウオ類

体長・体重測定調査、胃内容物、生殖腺調査、水揚地調査

(3) 鮮魚取扱い市場水揚量調査

(a) 主要漁協市場水揚量調査

(b) 主要魚種水揚量調査

取扱い市場 沖縄県漁連、那覇地区漁協、糸満漁協

調査対象魚種 ハマダイ、ハマフエフキ、スジアラ、アオリイカ